



せいひ会だより

2016年(平成28年)
3月1日発行
<第191号>
社会福祉法人せいひ会
http://www.seihikai.jp/



鬼は～外! 福は～内!

2/3の節分の日、各事業所では豆まきを行いました。
グループホームでは、年女の方には着物を着て「口上」を述べて頂きました。その後は鬼役の職員に向けて「鬼は～外!福は～内!」の掛け声とともに、力強く豆がまかれました。
豆まきと、ちょっと短めの恵方巻きで今年一年の無病息災を願った一日でした。

2月の行事

- 03日 豆まき(GH・通所・風和・寿限無)
- 06・20日 書道(通所)
- 19日 運営推進会議(GH)



3月の行事予定

- 01日 ひなまつり(通所)
- 03日 ひなまつり(GH・風和・寿限無)
- 08日 通報訓練(シニアヴィレッジ)
- 11日 夜間想定消防総合訓練(寿限無)
- 17日 運営推進会議(寿限無)



インフルエンザ等の 感染予防について

長崎県内は「インフルエンザ流行警報」が発令中であり、まだ流行が続いています。このため法人内各施設では、流行警報の解除まで、面会制限とともに一般の方の見学もご遠慮いただいています。皆様方のご協力を引き続きよろしくお願い

☆2月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



西浦 春次様

今回は元龜の里：西浦 春次様にお話を伺いました。

昭和6年、琴海町長浦に8人兄弟の4男(男5人、女3人)として生まれる。両親は百姓をしており、田んぼで米や粟を作り、畑では芋作りをしていた。子供の頃は田畑の手伝いをすることが多かった。近所には形上湾があり、夏は兄妹や友達と一緒に海水浴・素潜り・魚釣りなどをして遊んでいた。素潜りでは巻貝・サザエ・ちゅうちゅう貝などを捕っていた。魚釣りは得意で、チヌ(50cm)・キス(15cm)を釣り上げたこともあったそうだ。また、近くの山では野イチゴや山ブドウを取って食べていたそうだ。友達同士の喧嘩が始まると仲裁に入り、喧嘩を止めていたそうだ。「喧嘩は嫌いで正義感が強かった」と言われる。中学校を卒業すると戦争が始まり、日本陸軍無線通信隊に配属され中国まで行くことになった。上官や他の兵隊達は現地の人達に意地悪をしていたが、正義感から意地悪は一切しなかったとのこと。現地の人達とは仲

が良く、一緒にご飯を食べながら話をし、よく遊んだとのこと。終戦後は長浦に戻り、田んぼや畑で米や麦・野菜を作り、トラックで長崎まで売りに行って生計を立てていたそうだ。畑で作った芋の残りで焼酎を作り、近所の人達と毎日飲むのが楽しかったと言われる。時々、焼酎を作っていないか税務署の職員が取り締まりに来ていたそうだが、その時は裏山に焼酎を隠し、こっそり飲んでいと懐かしそうに話される。お酒の中では芋焼酎が大好きで、かなりの酒豪だったそうだ。今でも、「あれは美味しかったなあ、また飲みたいよ」と笑顔で話される。現在は施設での生活にも慣れ、新聞やテレビを見ながら他利用者とよく話しをされている。88歳の誕生日を迎えられた西浦さん。いつまでも元気で素敵な笑顔を見せてください。

お誕生日おめでとうございます。

Vitality Space

バイタリティー・スペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの活動には、このバイタリティーの力にあふれています。

うたの時間

川添いの
ススキはアシの
さまになり
枯れ葉はさびさ
川面に舞う
春咲風にうながされ
いづこえ行くか
独り旅
(通所) 竹下晶子

旅の空
どこまで行っても
涙隠して
男のごとく
(風和) 大川千代子

雪降りの
積もった家や道路まで
テレビを見ても
寒さがつのる
(風和) 立石ミドリ

豆まきに
「福は内」に
あやかりたい
(風和) 中島マツ

若き日の
着物姿の
うるわしさ
(風和) 作中和子

春和
嶋トエ
風和 嶋トエ

左右
岩崎和子
風和 岩崎和子

谷川
アキ
風和 田中アキ

純真
可憐
秋浦克敏
通所 秋浦克敏

椿の花
山脇良人
通所 山脇良人

桃の花
みぎと
通所 宮本榮二郎

節分



風和



通所

節分に向けて、お面などの小物も利用者の方たちと一緒に手作りしました。当日は、皆さん一丸となって思い切り豆をまきました。豆まき終了後は、鬼と一緒に

赤鬼・青鬼の登場に、利用者の皆さんは一斉に、手に持っていた甘納豆で大奮闘！でも、よく見ると、鬼同士の豆まきのようですね。(笑)



寿限無

基礎訓練



2/23、シニアヴィレッジせいひりハピリ室にて、AEDの使用方法や応急処置を学ぶ基礎訓練を行いました。佐世保市東消防署西彼出張所の方々にご参加・ご指導いただき、人体模型やAEDデモ機を使用して訓練しました。非常時に冷静に対応できるよう、また、訓練を活かせるようにしておきたいと思います。ご協力ありがとうございました。



オヤジ 敏美の独り言

〈あつてはならないこと〉



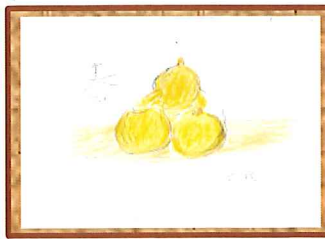
決してあつてはならない出来事が起きた。皆さんもご存じでしょうが、川崎市の有料老人ホームの殺人事件！！事件の真相はまだ解明されていないが「人生の大先輩」をお手伝いするいでありながら……。しかも、それで生計を立てている人間が……。考えられない。(怒)
しかしながら、ある有料老人ホーム入居中の90歳の女性入居者がこんなことを言っていた。「悲しい、本当に悲しい事件ではあるが、一生懸命働いて、本当に良くしてくれる介護職員さん達がほとんど。そんな職員さん達が世間から変な目で見られないか心配」～「介護現場はどこも職員が足りず、とにかく一生懸命働いている。今、政府は高齢者にお金を回そうとしているが、そんな

お金があるなら介護の世界にお金を回してほしい。食事・排泄・入浴等の手伝いを365日24時間してくれている。中には認知症で大声を上げる方もいるが、自分を押し殺し、笑顔でお世話をしてくれている。この現状を政府が本腰を入れて取り組まないと、日本全体が壊れてしまう。」と話していた。考えられない事件ではあるが、入居されている方の言葉は事実であり、なんか、福祉の世界で生きている私にとって「救われる言葉」であった。(涙) ……介護に従事している皆さん、とにかく高齢者の為に頑張ろう！！

絵手紙作品



通所 竹下晶子



通所 三枝和枝



グループホーム利用者作品